

いわきの未来を 文化の力でつくる 方法を探る

-mana viva-

本事業は、「文化によるまちづくり」を文化・芸術・アート等による多角的な視点から行政と市民が共に考え、創り上げていくための基盤づくりを目的に、毎回各分野で活躍されている方を講師として呼びし、いわき市のこれからのまちづくり等について、みなさんと考えを深めていきます。

2018/1/25 (木) 18:30 - 20:30 会場：いわき産業創造館 会議室1 (いわき市平字田町120 ラトブ6F)

地域の文化資源を活かし、まちの新しい魅力を創り出す～八戸市の事例から～
ゲスト 柳沢拓哉氏 (八戸ポータルミュージアム はっち コーディネーター)

2018/2/9 (金) 18:30 - 20:30 会場：いわき産業創造館 セミナー室 (いわき市平字田町120 ラトブ6F)

「実践。はじめてのロジックモデル」～活動の価値を見える化したい人へ～
ゲスト 大沢望氏 (特定非営利活動法人 SROI ネットワークジャパン)

2018/2/20 (火) 18:30 - 20:30 会場：いわき産業創造館 セミナー室 (いわき市平字田町120 ラトブ6F)

いわきで「東北」を起動する

ゲスト 石倉 敏明氏 (秋田公立美術大学 美術学部美術学科 准教授)

2018/3/7 (水) 18:30 - 20:30 会場：いわき PIT (いわき市平字宣町5-13)

2020年東京五輪—文化プログラムをいわきの活性化につなげるために
ゲスト 吉本 光宏氏 (株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事)

～いわきの未来を 文化の力でつくる方法を探る～

定員30名
参加無料

2018/1/25 (木) 18:30 - 20:30 定員30名
会場：いわき産業創造館 会議室1 (いわき市平字田町 120 ラトブ6F)

地域の文化資源を活かし、 まちの新しい魅力を創り出す～八戸市の事例から～

「文化芸術を通して市民が生き生きと心豊かに暮らせるまち、文化芸術の力を活用した魅力あふれるまち、八戸の実現」をスローガンに掲げた青森県八戸市。その中でも市民活動の核「はっち」は、中心市街地活性化の切り札的存在として、開館から6年半で来館者数 600 万人を達成しています。地方創生が叫ばれている中、文化芸術、ものづくりなどを通じて、地域の資源を上手に活かしながら、新しい魅力を生み出している「はっち」の取り組み。いわきと八戸との共通点、相違点も考えながら、ノウハウやコンセプトを学び、文化の力を通じたまちの活性化を考えます。

ゲスト 柳沢拓哉氏
(八戸ポータルミュージアム はっち 主任コーディネーター)

1979年青森県八戸市生まれ。NPO職員、プランニングネットワーク東北共同研究員を経て、八戸ポータルミュージアムの開館準備に従事し、開館後は企画業務を担当。現在の兼職に、八戸工業高等専門学校共同研究員、あおもりNPOサポートセンター理事・事務局長など。

2018/2/9 (金) 18:30 - 20:30 定員30名
会場：いわき産業創造館 セミナー室 (いわき市平字田町 120 ラトブ6F)

『実践。はじめてのロジックモデル』 ～活動の価値を見える化したい人へ～

近年、わが国では公益活動の新たな担い手として多様な主体が知恵や技術を最大限発揮し、成長できる環境を整える事が求められ、その礎としての「社会的インパクト評価」に注目が集まっています。今年度の「瀬目文化共創都市づくり推進実行委員会」で行われた「コミュニティツーリズム事業」のロジックモデル作成を例に、「大事なもの」を中心に捉え続ける活動の組み立て方や、改善に向けた学びをどのように社会化するか、貨幣価値に換算し難い活動を関係者とのように価値を共有し共通言語を作っていくのか、実践を通じた学びの会を開催します。

ゲスト 大沢望氏
(特定非営利活動法人 SROI ネットワークジャパン)

専門は NPO 評価。社会課題解決・価値創造を目的とした様々な分野の事業に関する調査・評価の他、地域・まちづくりや文化・芸術活動などの評価のためのツール作成などにも携わっている。平成28年度内閣府「社会的インパクト評価実践(ロジックモデル作成)」の全国普及促進に関する調査には有識者として参加。

2018/2/20 (火) 18:30 - 20:30 定員30名
会場：いわき産業創造館 セミナー室 (いわき市平字田町 120 ラトブ6F)

いわきで「東北」を起動する

「東北」と「関東」、「エミシ」と「ヤマト」、「親潮」と「黒潮」、二つの異なる潮流の「境目」にある福島県いわき市。まさに「潮目」と呼ぶべき多様な文化が育まれてきました。今回は、東北全般の歴史・文化を再認識しながら、あくまで「東北としてのいわき」に光を当て、いわきらしさとはなにか、潮目とは何かについて考えるヒントを探していきたいと思います。学びと対話のすえに再発見されたいわきは、東北の最果てでしょうか。それとも、東北の最先端でしょうか。

ゲスト 石倉 敏明氏
(秋田公立美術大学 美術学部美術学科 准教授)

多摩美術大学芸術人類学研究所助手を経て、明治大学学生の科学研究所研究員、現職。共著・編著に「人と動物の人類学」、「道義の足跡」、「折形デザイン研究所の新・包絡図説」、「タイ・レイ・タイ・リオ絵記」、「野生めぐり」など。

2018/3/7 (水) 18:30 - 20:30 定員50名
会場：いわき PIT (いわき市平字宜町 5-13)

2020 年東京五輪ー文化プログラムを いわきの活性化につなげるために

2020 年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会では、文化プログラムが実施されることになっており、一昨年のリオ大会終了後から、全国各地で様々な取り組みが始まっています。福島県いわき市ではどんな可能性があるのでしょうか。かつてない規模と内容で実施されたロンドン 2012 大会の実績、組織委員会や文化庁、東京都等の動きを含めてお話しします。

ゲスト 吉本 光宏氏
(株式会社ニッセイ基礎研究所 研究理事)

1958年徳島県生。東京オペラシティや国立新美術館、いわきアリオス、東京国際フォーラム等の文化施設開発やアートワーク計画のコンサルタントとして活躍する他、文化政策、創造都市、五輪文化プログラム等の調査研究に取り組む。現在、文化審議会文化政策部会委員、東京2020組織委員会文化・教育委員、東京芸術文化評議会評議員、企業メセナ協議会理事などを務める。主な著作に「文化からの復興ー市民と震災といわきアリオスと(編著)」等。

お問合せ・お申込み

必要事項をご記入頂き、件名に講座名を明記の上、ファックスか電子メールのいずれかによりお申し込みください。
いわき瀬目文化共創都市づくり推進実行委員会 (いわき市 文化スポーツ室 文化振興課)
TEL: 0246-22-7544 FAX: 0246-22-7552 MAIL: bunkashinko@city.iwaki.fukushima.jp

氏名	ふりがな	住所	E-mail	参加有無
TEL				
日付	講座名	参加有無		
1/25 (木)	地域の資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出す～八戸市の事例から～			
2/9 (金)	実践！はじめてのロジックモデル～活動の価値を見える化したい人へ～			
2/20 (火)	いわきで「東北」を起動する			
3/7 (水)	2020年東京五輪ー文化プログラムをいわきの活性化につなげるために			